

科目名	医療統計学			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床研究や学術論文を読み解くために必要な統計学的知識を身に着けます。統計学用語や基礎知識の他、実際の臨床データを用いて基本的な統計処理を行います。また、基本的なEZRの使い方についても習得します。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 スライドと配布資料を中心に講義を行います。可能な限り図表や写真を用い視覚的に理解を促す講義を展開します。また、統計ソフトEZRを用いて臨床データの解析を行い、より実践的な演習も行います。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①統計学用語、基礎知識を身に着け、説明できるようになる。 ②EZRを用いた統計処理を行えるようになる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	履修に際してのガイダンスを行う。統計学の基礎、EZRの使い方を学ぶ。						
2	仮説検定について学ぶ。P値と信頼区間について理解する。						
3	データにあった適切な統計処理の選び方について理解する。						
4	2群間の比較について理解し、EZRで解析できるようになる。						
5	対応のある検定について理解し、EZRで解析できるようになる。						
6	3群以上の検定について理解し、EZRで解析できるようになる。						
7	3群以上の対応のある検定について理解し、EZRで解析できるようになる。						
8	カテゴリ変数の検定について理解し、EZRで解析できるようになる。						
9	線形回帰モデルと相関係数について理解する。						
10	EZRで線形回帰モデルを用いた相関解析ができるようになる。						
11	リスク比、レート比、オッズ比とロジスティック回帰について理解する。						
12	EZRを使用し、ロジスティック回帰を用いてオッズ比を算出できるようになる						
13	検査における感度・特異度、ROC図の見方について理解する。						
14	生存解析と Kaplan-Meier 曲線について理解する。						
15	疫学研究の研究デザインについて理解する。						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・みんな医療統計 新谷歩 講談社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 ・準備学習としてシラバスを参考に当該範囲を熟読して講義に臨むこと ・講義後はノートと教科書を利用して自分なりに要約したまとめを行うこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							